

# 病害虫発生予察注意報 第4号

富山県農林水産総合技術センター所長

## タバコガ類の多発に注意

県内キクほ場のフェロモントラップにおいて、タバコガ類の成虫が平年より多く確認されています。今後、本幼虫による被害の拡大が懸念されるため、防除の徹底が必要です。

### ◎病害虫名 タバコガ類（オオタバコガ・タバコガ）

1 作物名：キク、その他野菜・花き・果樹類

2 発生地域：県下全域

3 発生程度：多い

#### 4 注意報発令の根拠

- (1) 県内3か所に設置したフェロモントラップ調査において、6月6半旬～7月5半旬の累計誘殺数は、タバコガは14.7頭と平年（16.1頭）並であるが、オオタバコガは43.3頭と平年（20.2頭）より多く誘殺された（図1、2）。タバコガ類は、10月にかけて増加する傾向があるため、今後、被害の拡大が懸念される。
- (2) 新潟地方气象台によると、北陸地方の8～10月の気温は、平年より高いと予想されており、タバコガ類の活動が活発になると予測される。

#### 5 防除対策及び留意事項

- (1) ほ場を見回り、葉、花蕾、新梢、果実に新しい食害痕や虫糞がみられる場合は、その周辺を中心に幼虫を探し捕殺する。穴の開いた被害果は、ほ場外に持ち出し、適切に処分する。
- (2) ほ場内や周辺の雑草は発生源となるため、除草を徹底する。
- (3) ハウス栽培では、定植前にハウスの開口部を4mm以下のネットで被覆し、成虫の侵入を防止する。
- (4) 花蕾や果実、結球する葉菜類の内部に侵入した中～老齢幼虫は薬剤の効果が低くなるため、若齢期までに防除指針や農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>) を参照し、薬剤防除を実施する。なお、薬剤の感受性低下を防ぐため、同一系統の薬剤使用は避け、ローテーション防除を実施する。

【参考資料】

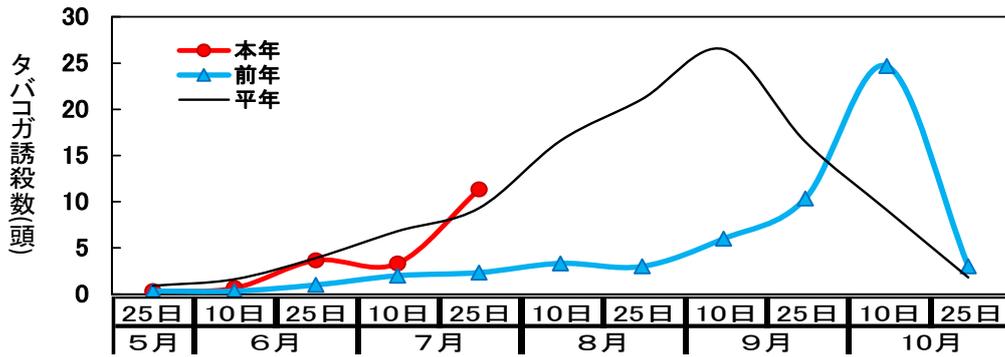


図1 タバコガの誘殺数推移(県内3か所平均)

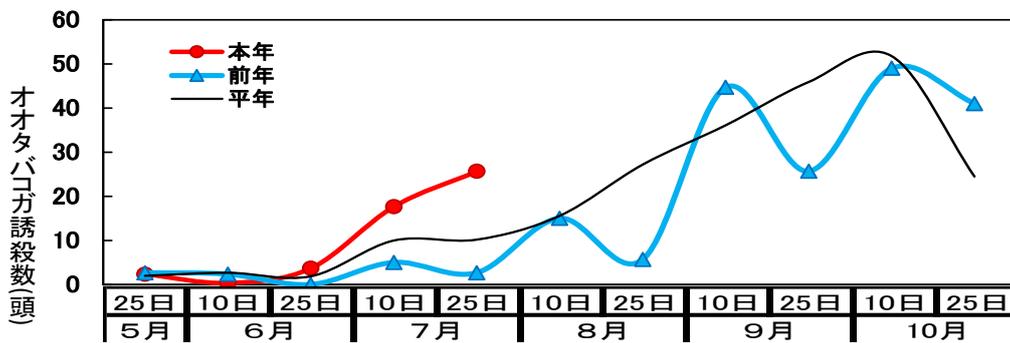


図2 オオタバコガの誘殺数推移(県内3か所平均)



図3 トラップに誘殺されたオオタバコガ(左)とタバコガ(右)の成虫



図4 キクの蕾を食害するタバコガ類の幼虫



図5 タバコガ類によるキク被害葉と食糞



図6 ミニトマトを食害するタバコガ類

問合せ先  
 農業研究所 病理昆虫課  
 TEL 076-429-5249 FAX 076-429-2701